

「子どもたちと関わるうえでのマイルール」



2023 年就職
保育教諭 みやはら 宮原 しいな 美那

私の中でのマイルールは、三つあります。一つ目のルールは子どもの気持ちに寄り添い、共感する事です。私は幼少期、担任の先生からたくさんの愛情を注いでもらいました。先生に話を聞いてもらえたり気持ちを共感してもらったことは、今でも嬉しかった記憶として印象に残っています。そうした幼少期を経て、今度は自分が保育教諭となり、現在 0 歳児クラスの担任をしています。一つ目のルールである、子どもの気持ちに寄り添い共感する事を意識して、教育・保育を行っています。例えば、子どもが泣いている場面では、なぜ泣いているのかを自分なりに考え、その子の気持ちに寄り添った声かけを心がけています。気持ちに共感してもらえた嬉しさから笑顔になってくれた時には、私も喜びを感じます。

二つ目のルールは、子どもの成長を褒める事です。子どもは日々成長しています。昨日できなかったことが、翌日になるとできるようになっている事もたくさん。成長できた喜びに共感することで子どもモチベーションが上がり、さらに次の行動へと繋がっていきます。そのためにも一人ひとりの日々の様子をよく観察し、小さな成長にも気付けるようにしています。特に 0 歳児は成長のスピードが早く、子どもたちの成長に私自身も喜びを感じる事が多いです。

三つ目のルールは、スキンシップを大切に、一人ひとりに愛情を注ぐことです。子どもの成長には“愛情”と“優しい触れ合い”が不可欠です。その為、適度な抱っこやスキンシップを通して安心感を与えられるよう心がけています。スキンシップを大切にする事で、子どもとの信頼関係も築くことができます。ある日、登園時にお母さんと離れる寂しさから涙する、A ちゃんの姿がありました。私は、「A ちゃん寂しかったよね。お母さんが良かったんだよね」と A ちゃんに寄り添いながら、気持ちが落ち着くまで抱っこをしていました。すると気持ちが落ち着いたのか、A ちゃんはおもちゃで遊び始め、笑顔を見せるように。このように、優しく抱擁すると子どもも安心して落ち着いた表情になり、信頼を寄せてくれるように感じます。園は、子どもにとっての安心できる場でありたいと考える為、スキンシップをとり愛情を注ぐことは、特に大切にしているマイルールです。

こうした三つのマイルールを日々意識しながら、子ども達と関わっています。まだまだ分からない事も多く毎日が勉強の段階ですが、子ども達の成長や、遊びの中での可愛らしい姿などを間近で見守らせてもらう中で、私自身も成長していけるよう奮闘しています。子ども達との信頼関係を築き、毎日『先生や友達とたくさん遊びたい』と思えるように、関わりを大切にしていきたいと感じています。

これからすくすくと成長する姿を見守りながら、一人ひとりの良いところを多く見つけていける保育教諭になりたいと思っています。そのためにも日々の子ども様子を振り返り、“その日はどんなエピソードがあってどんな成長があったのか”を自分なりに考え、次の日の教育・保育に活かせるよう心がけていきたいと思えます。



(2023 年 8 月)